

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2012年3月期 第3四半期決算報告

2012年2月13日
第一生命保険株式会社

■ 第一生命グループ各社の営業業績は好調を維持

- ・第一生命、第一フロンティア生命のいずれも新契約年換算保険料が対前年同期比プラス成長
- ・海外子会社の保険販売も好調を維持

■ 厳しい運用環境、税制変更に伴う利益下押しにより、当期純利益は前年同期比マイナス

- ・厳しい運用環境を受けて有価証券評価損が高水準
- ・法人税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しの影響で当期純利益は前年同期比19%減の127億円

■ 健全性の強化に向けた取組が着実に進捗

- ・厳しい運用環境下でも、国内株式残高の削減、超長期国債の積み増し策は着実に進捗
- ・ソルベンシー・マージン比率は前期末レベルを維持し、有価証券含み益も増加
- ・内部留保の一部を取り崩すも、追加責任準備金を計画通り繰入れ自己資本水準は着実に向上

第一生命

連結主要業績

- 第一生命グループ各社の保険販売が堅調だったことを受けて、経常収益は前年同期比6%増
- 厳しい運用環境に加え、法人税制改正に伴う一時的な費用が発生したため、当期純利益は同19%減

(億円)

	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計(a)	前年同期比	
			増減	増減率
経常収益	34,016	35,968	+1,952	+6%
第一生命単体	31,877	32,573	+696	+2%
経常利益	1,062	1,848	+785	+74%
第一生命単体	1,138	1,996	+857	+75%
当期純利益	156	127	△29	△19%
第一生命単体	224	63	△160	△72%

<参考>

12/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
	47,800
42,900	76%
2,100	88%
2,300	87%
200	64%
170	38%

連結損益計算書・連結貸借対照表(要約)

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	増減
経常収益	34,016	35,968	+1,952
保険料等収入	25,085	26,625	+1,539
資産運用収益	6,801	7,141	+340
うち利息・配当金等収入	5,012	5,056	+44
うち有価証券売却益	1,609	2,018	+408
うち金融派生商品収益	149	-	△149
その他経常収益	2,129	2,201	+72
経常費用	32,953	34,120	+1,166
うち保険金等支払金	19,262	19,628	+365
うち責任準備金等繰入額	4,287	3,758	△529
うち資産運用費用	2,935	4,005	+1,070
うち有価証券売却損	879	1,064	+185
うち有価証券評価損	691	830	+138
うち金融派生商品費用	-	32	+32
うち特別勘定資産運用損	639	1,213	+573
うち事業費	3,182	3,393	+210
経常利益	1,062	1,848	+785
特別利益	43	288	+245
特別損失	213	308	+95
契約者配当準備金繰入額	600	522	△77
税金等調整前四半期純利益	292	1,305	+1,013
法人税等合計	144	1,202	+1,057
少数株主利益(△は損失)	△9	△24	△14
四半期純利益	156	127	△29

連結貸借対照表(要約)

(億円)

	11/3末	11/12末	増減
資産の部合計	322,978	326,442	+3,464
うち現預金・コール	5,019	4,949	△70
うち買入金銭債権	2,911	2,902	△8
うち有価証券	255,977	260,714	+4,736
うち貸付金	36,279	34,360	△1,918
うち有形固定資産	12,961	12,603	△357
うち繰延税金資産	4,772	4,050	△721
負債の部合計	315,660	319,536	+3,876
うち保険契約準備金	296,419	301,575	+5,155
うち責任準備金	290,394	295,135	+4,741
うち退職給付引当金	4,200	4,395	+194
うち価格変動準備金	805	757	△48
純資産の部合計	7,318	6,905	△412
うち株主資本合計	5,489	5,641	+152
うちその他の包括利益累計額合計	1,711	1,168	△543
うちその他有価証券評価差額金	2,388	2,016	△372
うち土地再評価差額金	△651	△646	+5

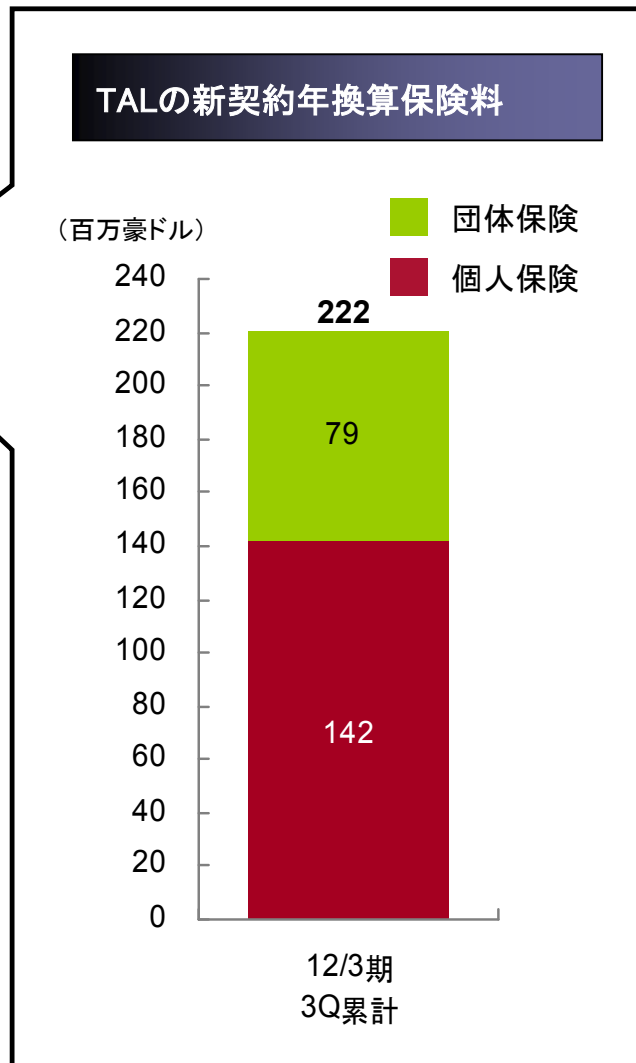
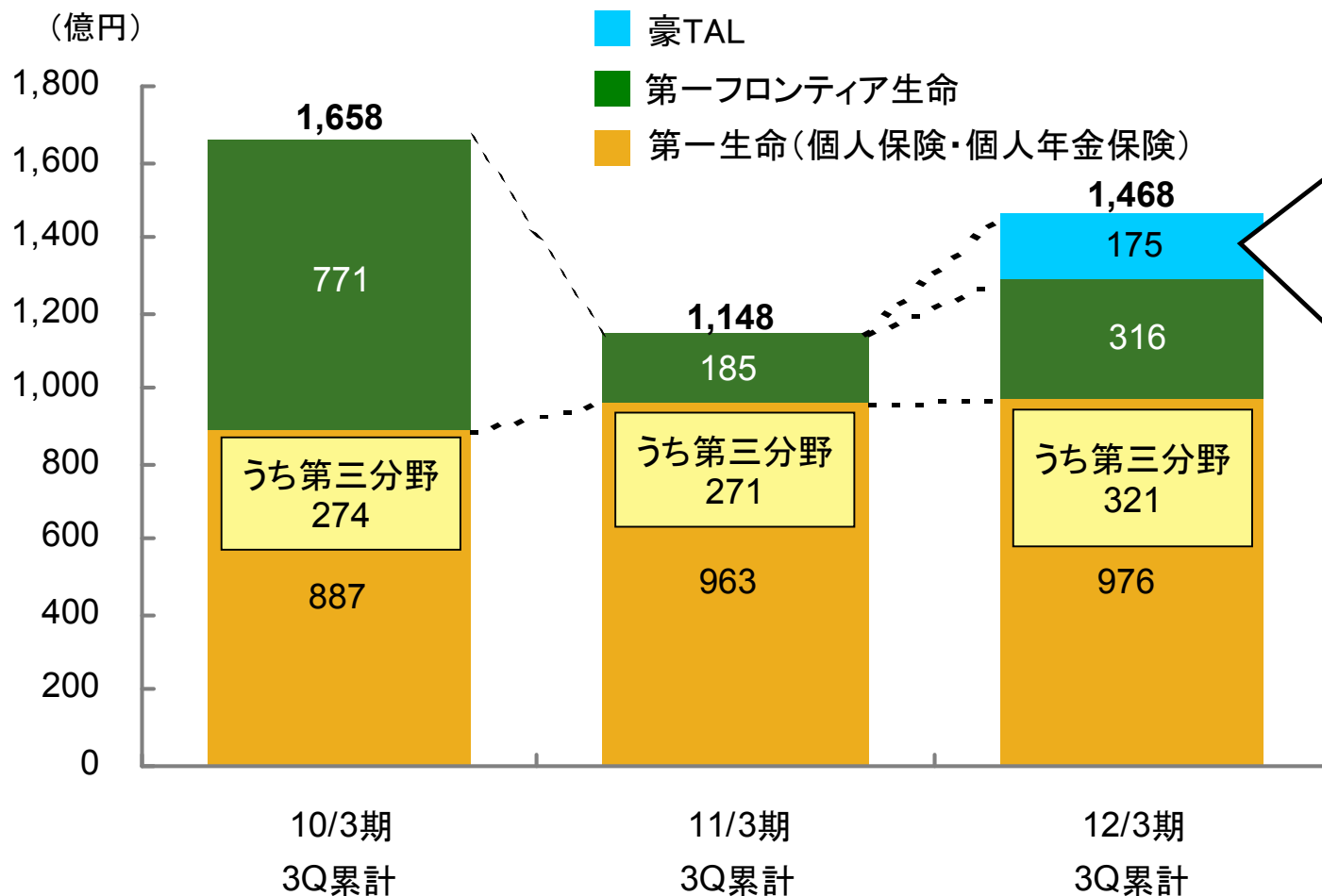
(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】				【豪TAL】 ⁽¹⁾				【連結】		
	(億円)			(億円)				(百万豪ドル)				(億円)		
	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	前年同期比	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	前年同期比	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	前年同期比	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	前年同期比		
経常収益	31,877	32,573	+696 +2%	2,083	2,558	+475 +23%	1,240	1,543	+302 +24%	34,016	35,968	+1,952 +6%		
保険料等収入	23,005	23,270	+264 +1%	2,051	2,429	+377 +18%	988	1,217	+229 +23%	25,085	26,625	+1,539 +6%		
資産運用収益	6,791	7,074	+282 +4%	32	127	+95 +298%	72	18	△ 54 △74%	6,801	7,141	+340 +5%		
経常費用	30,738	30,577	△ 161 △1%	2,181	2,800	+619 +28%	1,126	1,411	+285 +25%	32,953	34,120	+1,166 +4%		
保険金等支払金	18,646	18,343	△ 303 △2%	607	688	+80 +13%	661	826	+165 +25%	19,262	19,628	+365 +2%		
責任準備金等繰入額	3,021	2,318	△ 702 △23%	1,258	1,636	+377 +30%	118	134	+16 +14%	4,287	3,758	△ 529 △12%		
資産運用費用	2,713	3,663	+949 +35%	229	362	+133 +58%	15	61	+45 +288%	2,935	4,005	+1,070 +36%		
事業費	3,109	3,005	△ 104 △3%	79	106	+26 +33%	284	331	+47 +17%	3,182	3,393	+210 +7%		
経常損益	1,138	1,996	+857 +75%	△ 97	△ 241	△ 144 --	114	131	+17 +15%	1,062	1,848	+785 +74%		
特別利益	43	59	+15 +35%	3	--	△ 3 --	--	--	-- --	43	288	+245 +562%		
特別損失	216	305	+88 +41%	0	1	+1 +285%	--	2	+2 --	213	308	+95 +44%		
少数株主損失	--	--	-- --	--	--	-- --	--	--	-- --	9	24	+14 +158%		
四半期純損益	224	63	△ 160 △72%	△ 94	△ 243	△ 148 --	64	86	+22 +35%	156	127	△ 29 △19%		

(1) 11/3期において、Tower Australia Group Limited(以下、Tower社)は当社が28.9%の株式を保有する持分法適用関連会社でした。当社は、2011年5月11日付で当社未保有のTower社株式の全株取得を行いました。2011年6月1日付でTower社は会社名をTAL Limitedに変更しています。なお、表中でTALと表示している12/3期3Q累計の数値は、連結対象の豪持株会社に係る数値です。また、11/3期3Q累計の数値は、試算値です

新契約動向(年換算保険料ベース)

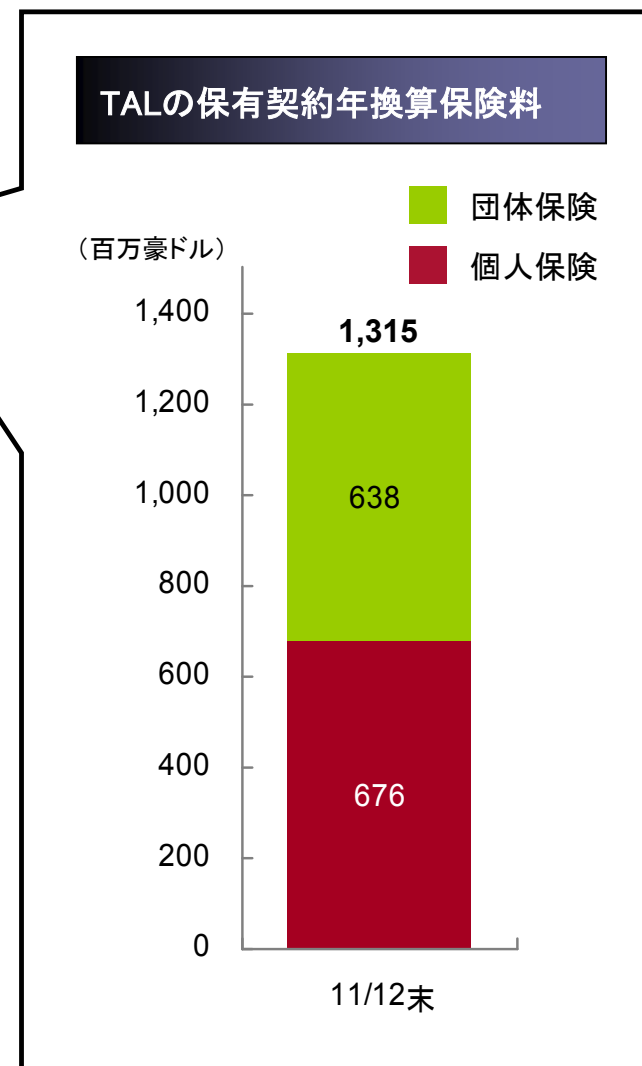
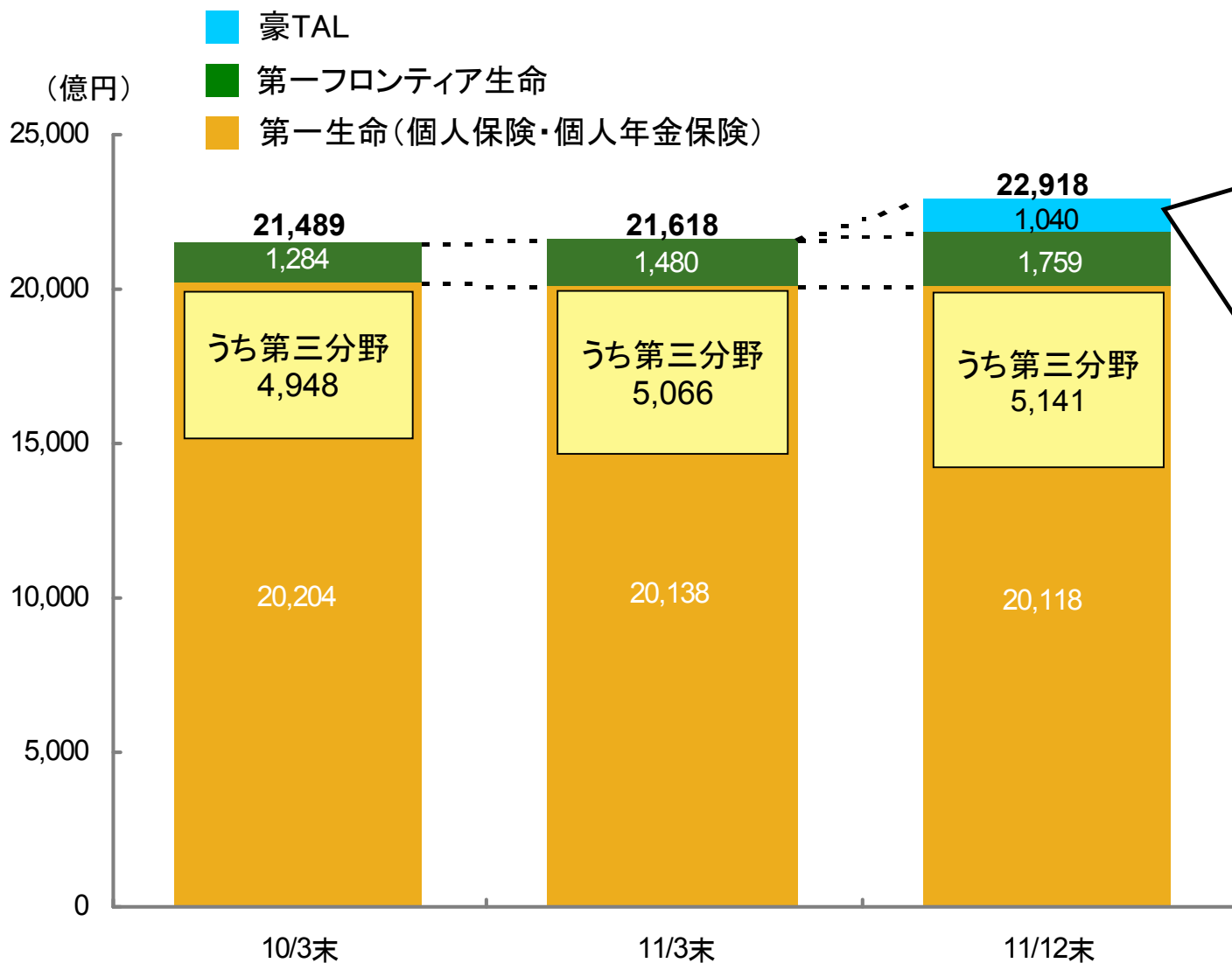
第一生命グループの新契約年換算保険料



第一生命

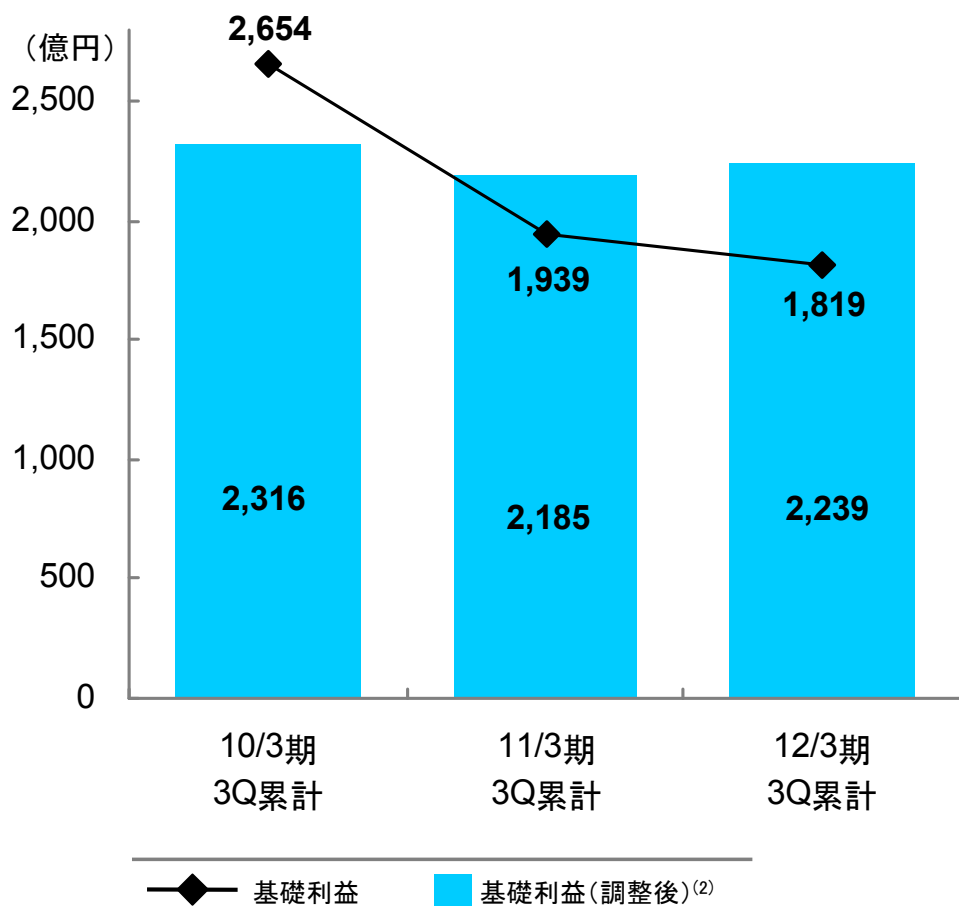
保有契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの保有契約年換算保険料

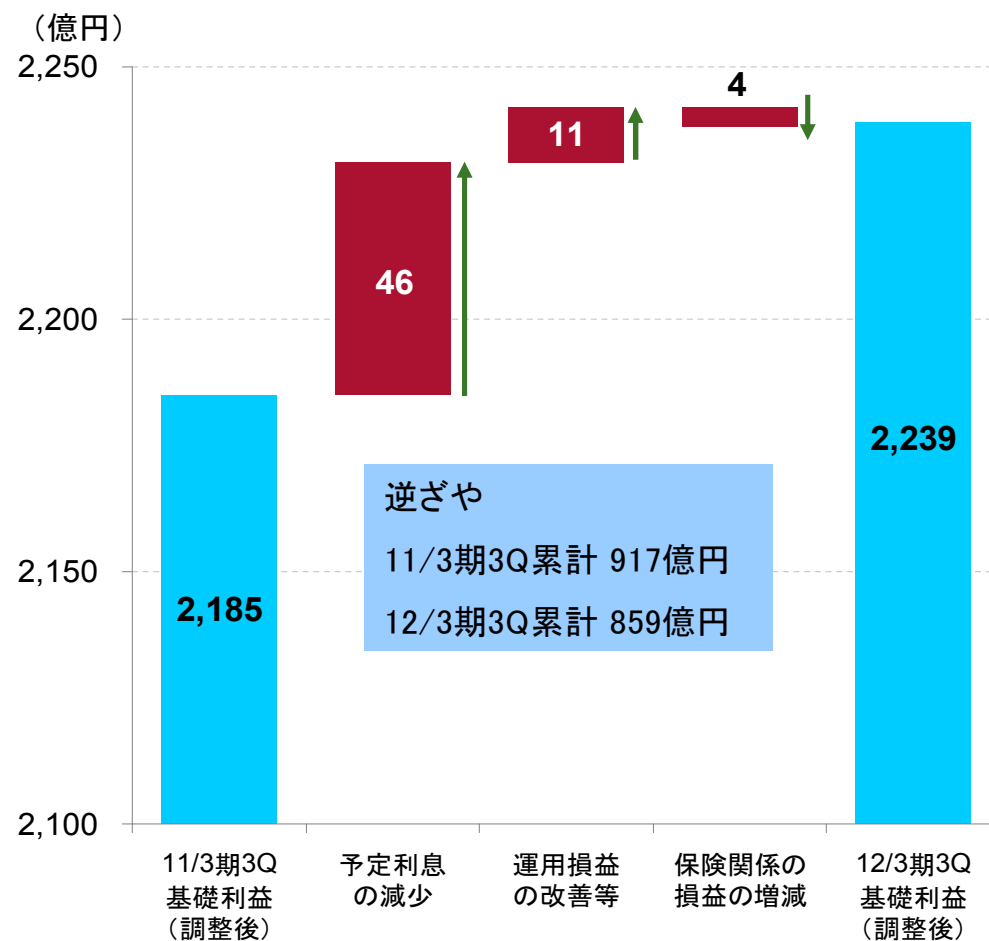


基礎利益の状況

基礎利益⁽¹⁾



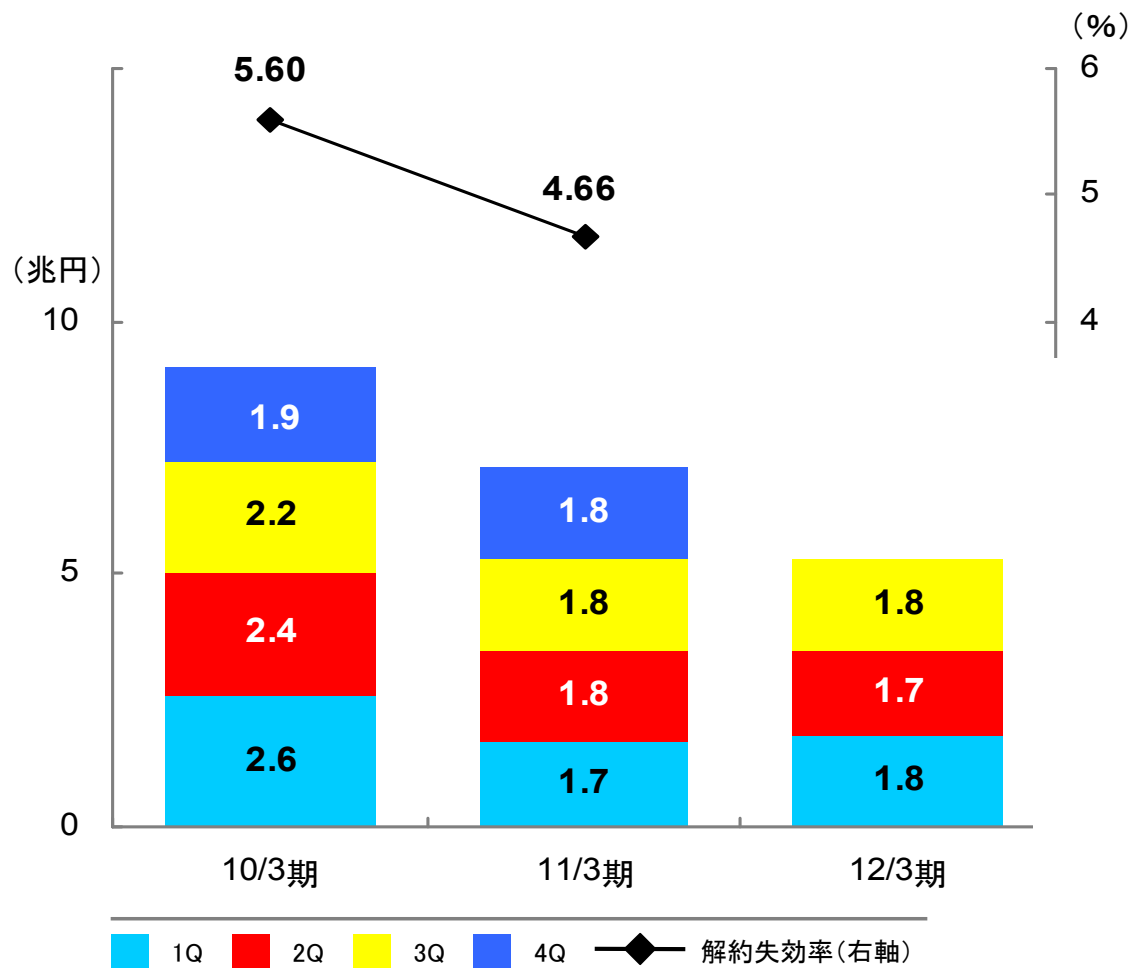
基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾



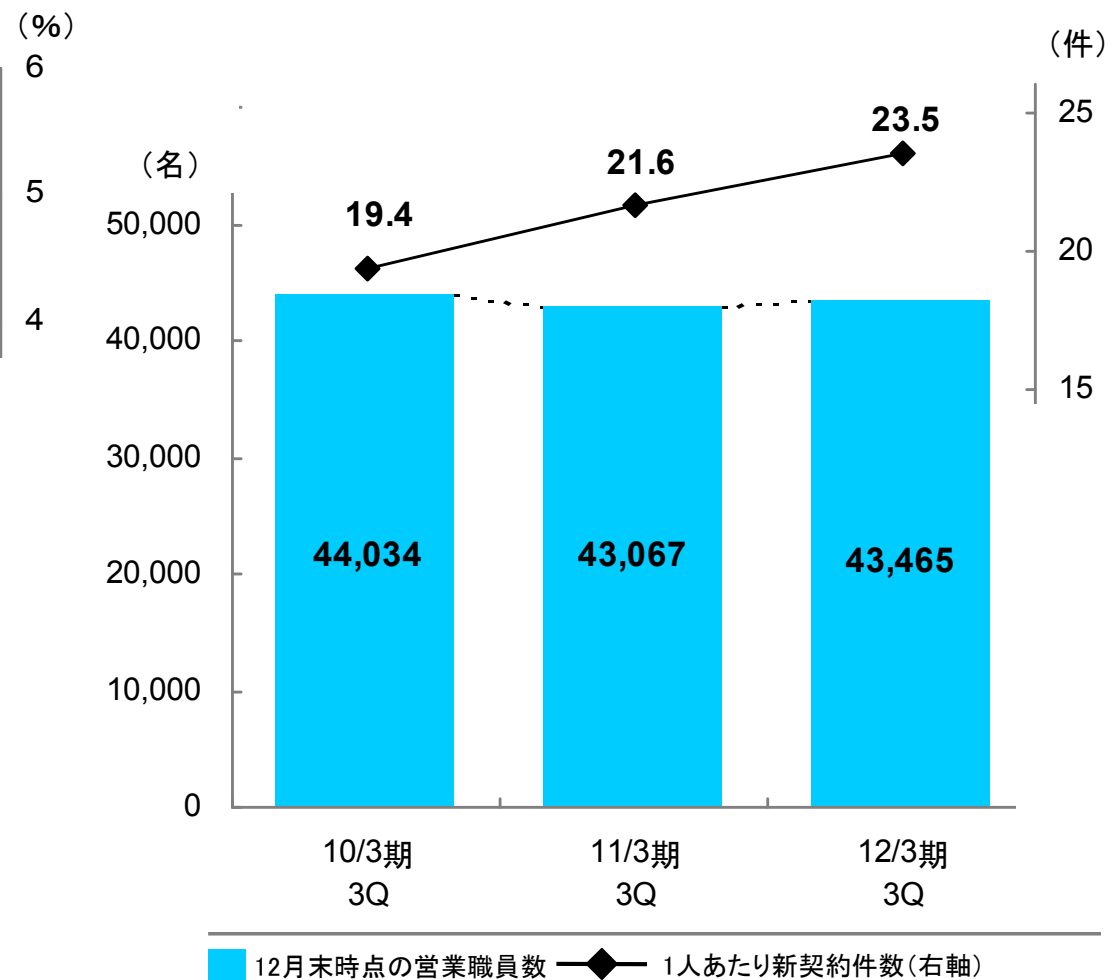
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)



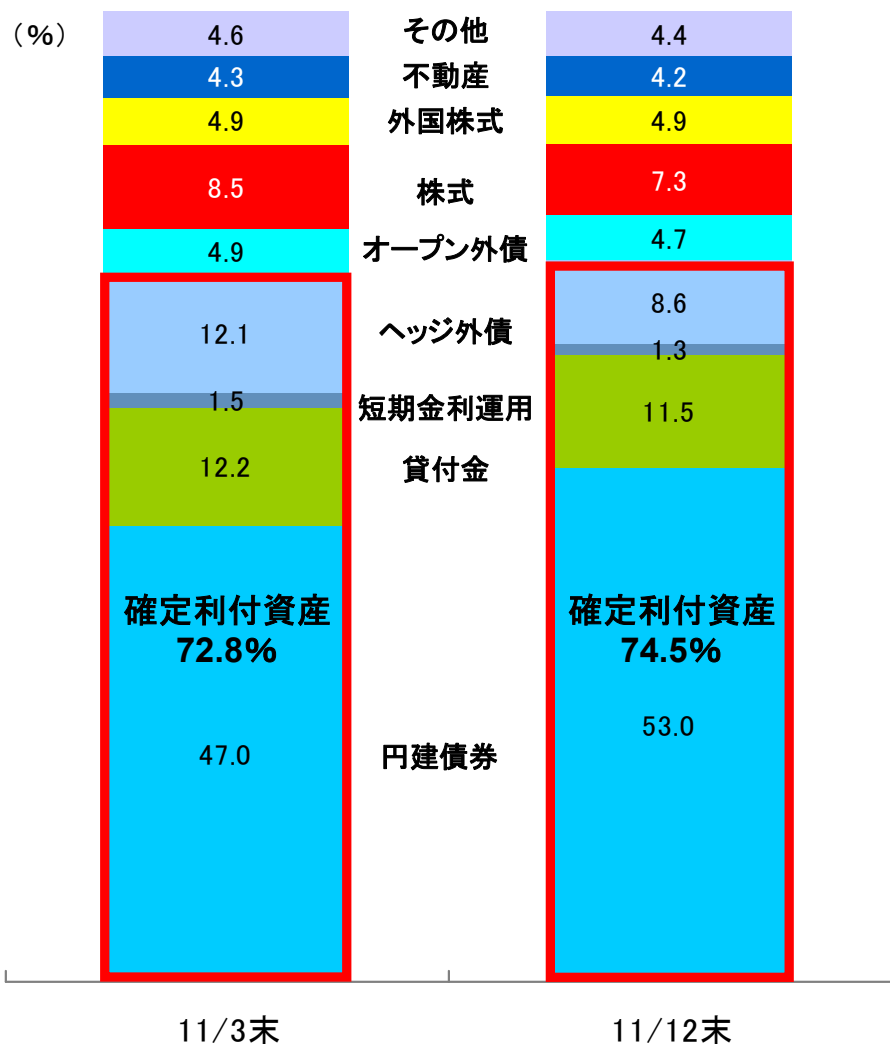
営業職員数および生産性⁽¹⁾



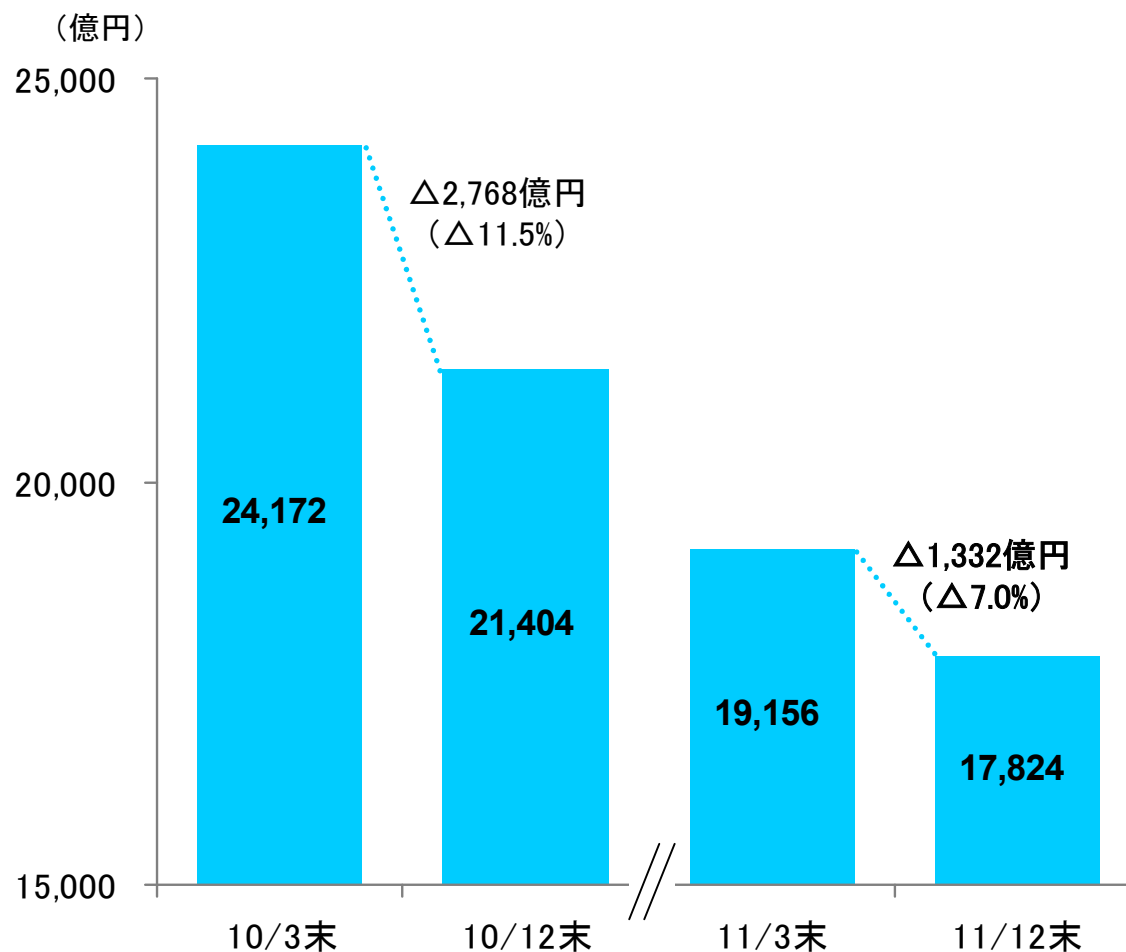
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております

一般勘定資産運用の状況(1)

資産の構成(一般勘定)



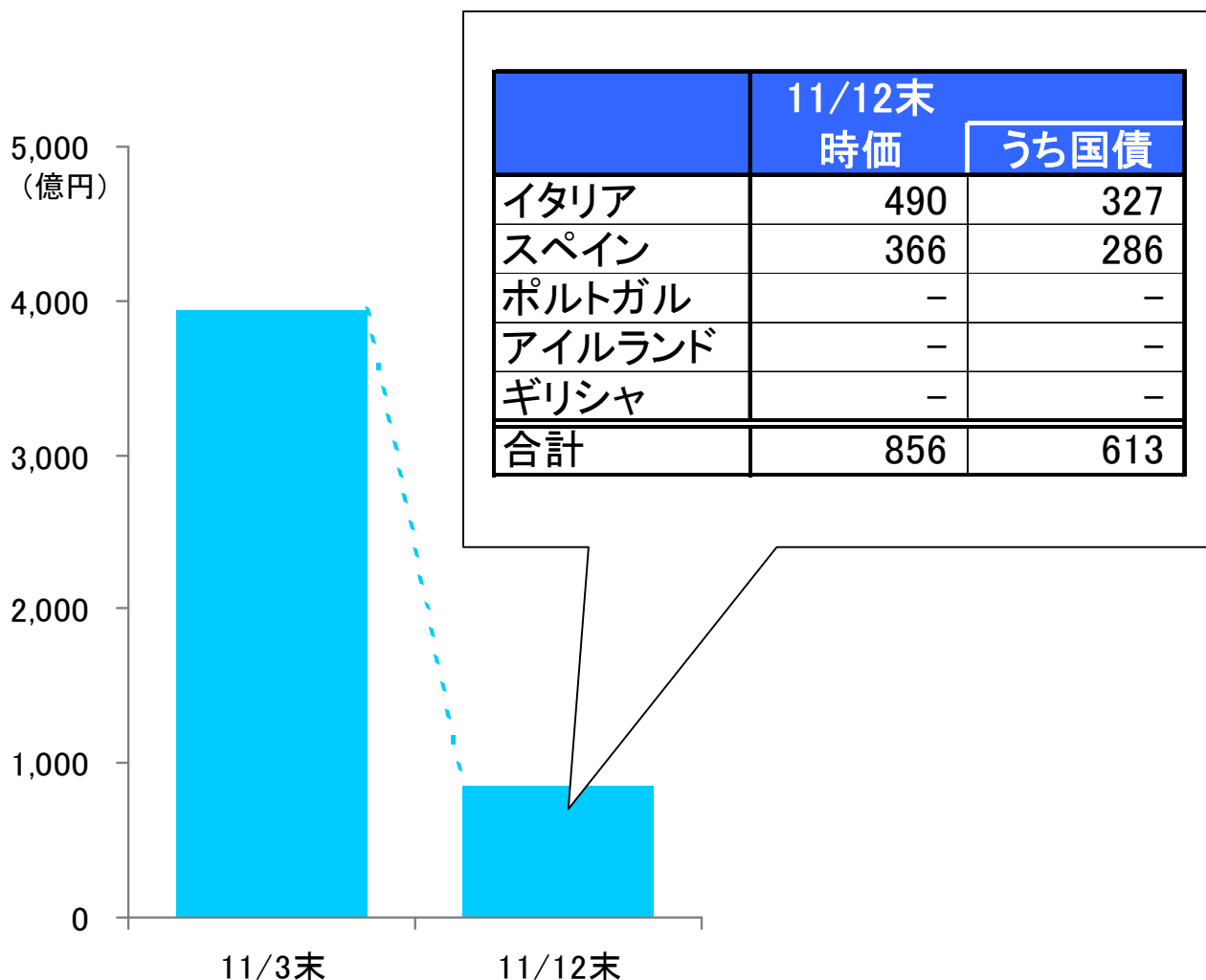
国内株式の簿価(1)



(1) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

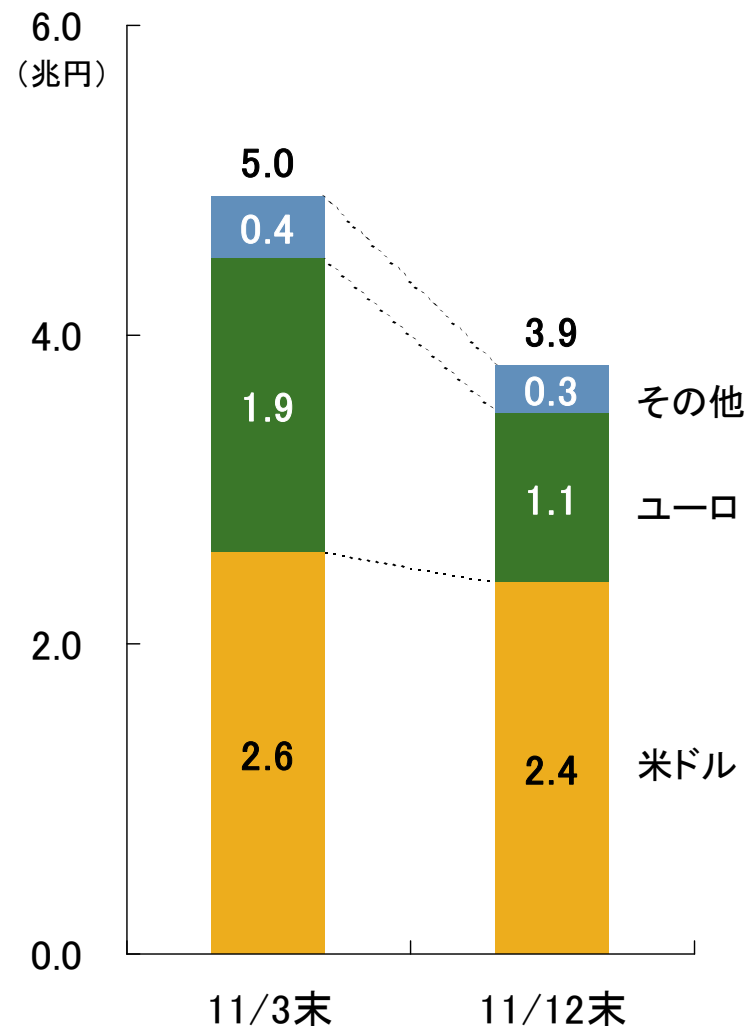
一般勘定資産運用の状況(2)

ユーロ圏一部諸国への投資額(時価ベース)⁽¹⁾



(1) 外部委託運用を除く
 (2) 貸借対照表価額(円建の外債を除く)

外債の通貨別残高⁽²⁾

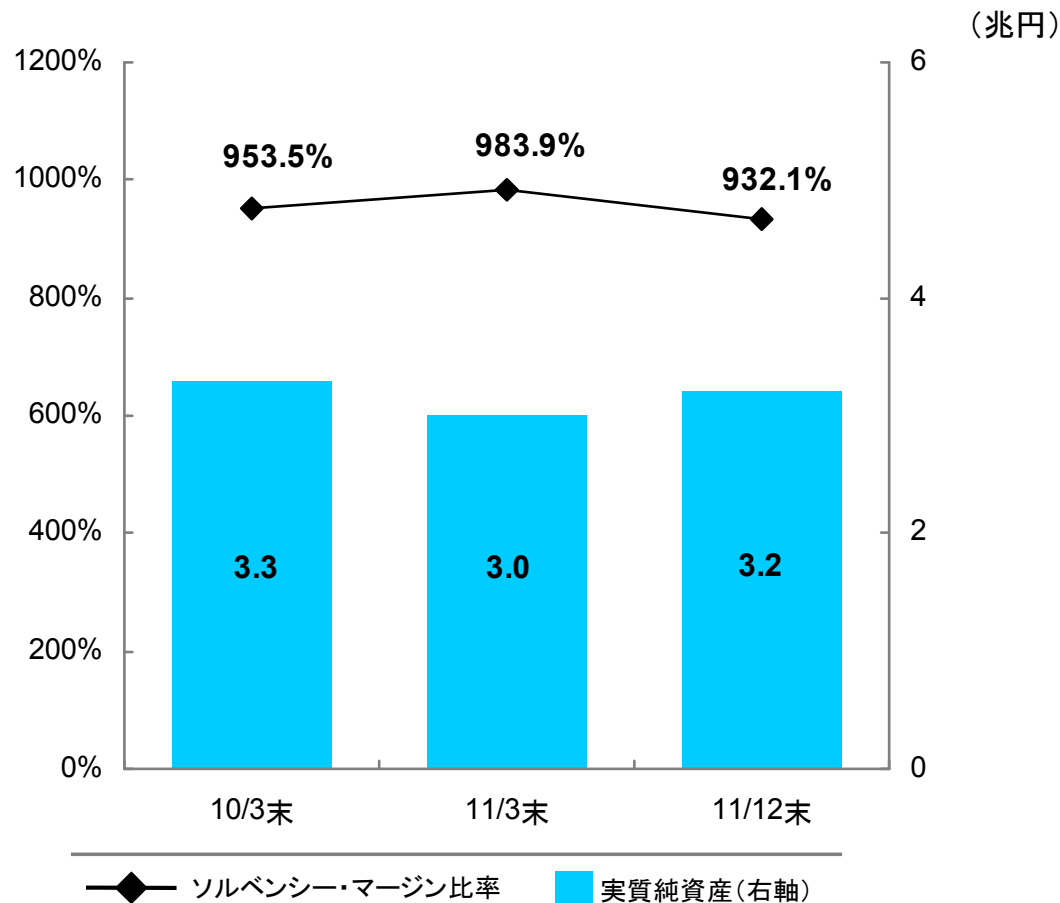


含み損益(一般勘定)

(億円)

	11/3末	11/12末	増減
有価証券	6,141	8,475	+2,334
国内債券	3,838	8,299	+4,460
国内株式	3,056	792	△2,264
外国証券	△804	△657	+147
不動産	205	△77	△282
その他共計	6,392	8,413	+2,021

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

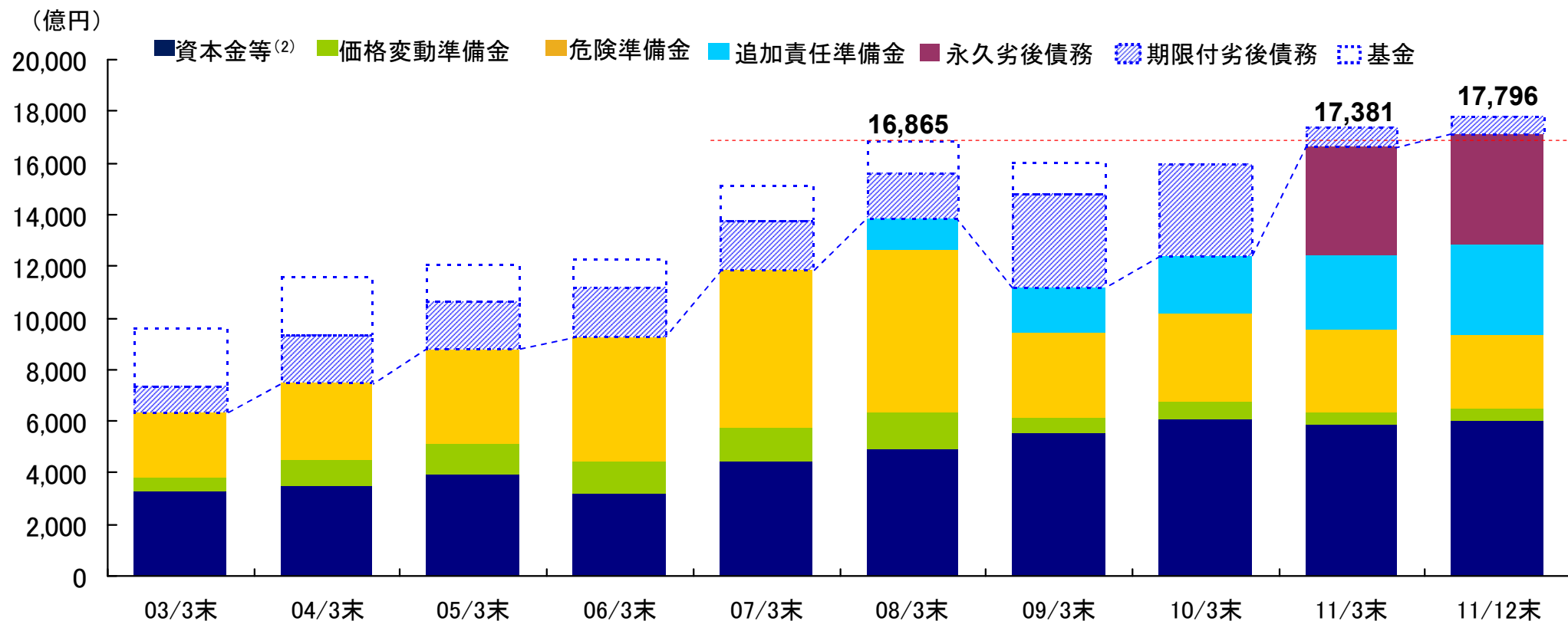


〈参考〉 2012年3月期末より導入される
新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

547.7% ⇒ 516.4%
(11/3末) (11/12末)

自己資本の構成 (1)

■ 内部留保を取り崩したものの、自己資本の水準は向上。

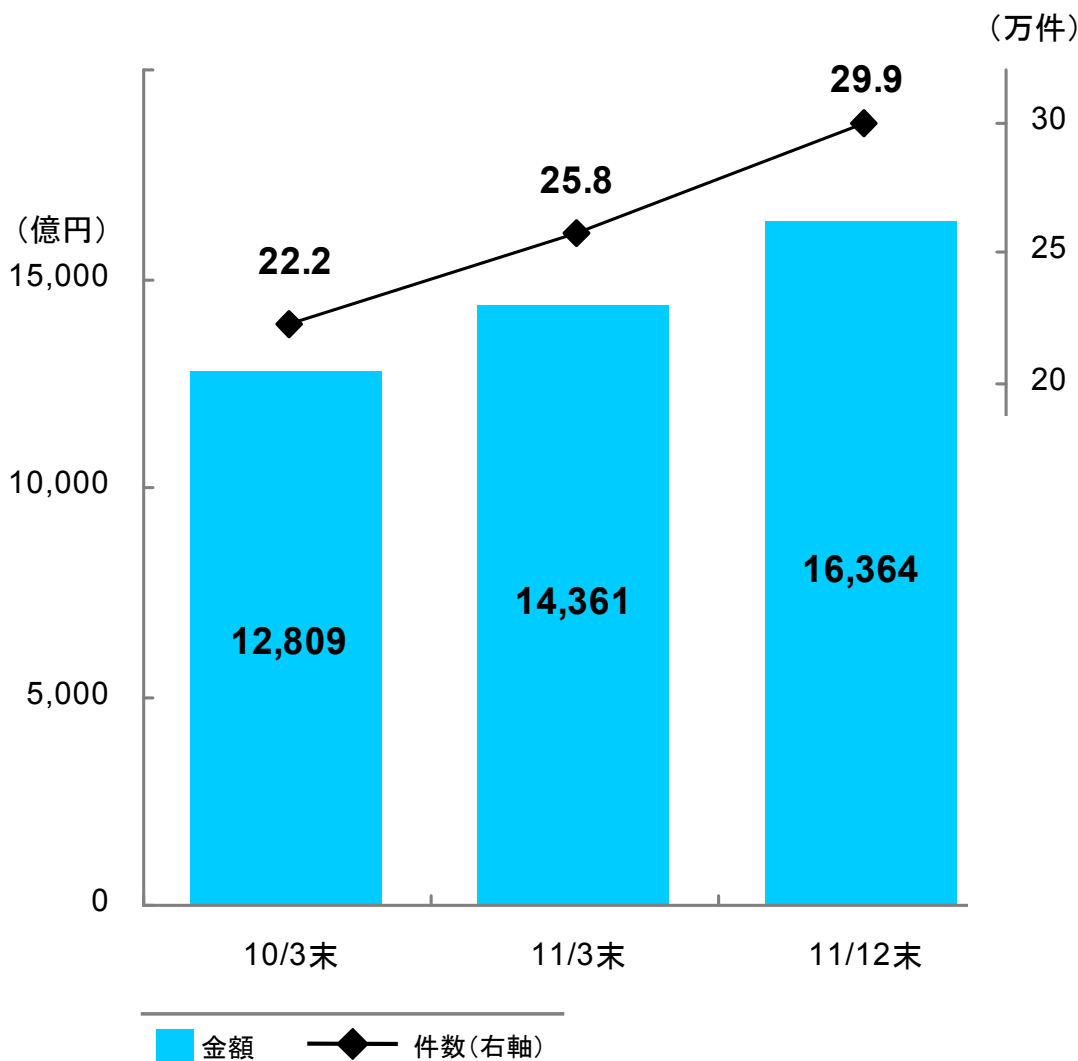


根拠資料: 当社作成資料

(1) 単体ベース、税後換算

(2) 「資本金等」は、純資産の部合計から基金、評価換算差額等、社外流出予定額等を控除

保有契約高



収支の状況

(億円)

	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計
経常収益	2,083	2,558
うち保険料等収入	2,051	2,429
うち変額商品	1,526	495
うち定額商品	184	1,620
うち資産運用収益	32	127
うち最低保証リスクに対する ヘッジ利益(A)	16	90
経常費用	2,181	2,800
うち責任準備金等繰入額	1,258	1,636
うち最低保証リスクに係る責任 準備金繰入額(△は戻入)(B)	242	407
うち危険準備金繰入額(C)	12	22
うち資産運用費用	229	362
経常利益(△は損失)	△ 97	△ 241
当期純利益(△は損失)	△ 94	△ 243
当期純利益－(A)＋(B)＋(C)	143	95

第一生命

豪TAL収支の状況⁽¹⁾

(百万豪ドル)

	10年4～12月 ⁽²⁾	11年4～12月	前年同期比
経常収益	1,240	1,543	+24%
うち保険料等収入	988	1,217	+23%
経常利益	114	131	+15%
純利益(A)	64	86	+35%
修正額(B)	7	▲ 2	
うち負債割引率の変化	▲ 2	▲ 23	
うち償却負担	12	17	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	72	84	+17%

〈参考〉

	10/12末	11/3末	11/12末
為替レート(豪ドル)	83.13円	86.08円	79.12円

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) 試算値

第一生命

2012年3月期業績予想(期初予想から修正—1月31日)

- 第一生命、TAL社の保険料収入が増加したこと等から連結経常収益を上方修正。一方、繰延税金資産取り崩しに伴う利益押し下げにより、連結当期純利益は下方修正

(億円)

	11/3期	12/3期(予) (1月31日修正)	増減
経常収益	45,715	47,800	+ 2,084
第一生命単体	43,084	42,900	△ 184
第一フロンティア	2,538	3,700	+ 1,161
経常利益	811	2,100	+ 1,288
第一生命単体	789	2,300	+ 1,510
第一フロンティア	△ 11	△ 270	△ 258
当期純利益	191	200	+ 8
第一生命単体	169	170	+ 0
第一フロンティア ⁽¹⁾	△ 8	△ 243	△ 234
1株当たり配当金	1,600円	1,600円	±0

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	2,759	2,800程度
------------------	-------	---------

第一生命

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー

■ 法人税減税の影響、新契約獲得による保有契約価値の増加により、9月末比で増加

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	11/9末	11/12末	増減
EEV	22,355	約23,000	約+700
修正純資産	15,959	約15,600	約△400
保有契約価値	6,395	約7,500	約+1,100

第一生命単体(試算値)

(億円)

	11/9末	11/12末	増減
EEV	23,072	約23,600	約+500
修正純資産	17,527	約17,100	約△400
保有契約価値	5,545	約6,500	約+900

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	11/9末	11/12末	増減
EEV	1,235	約1,300	約+100
修正純資産	951	約900	約△0
保有契約価値	283	約300	約+100

(1) 2011年12月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2011年12月末、非経済前提は2011年9月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー

TAL(試算値)

(億円)

	11/9末	11/12末	増減
EEV	1,091	約1,300	約+200
修正純資産	496	約600	約+100
保有契約価値	595	約700	約+100

<参考>TAL(試算値、豪ドルベース)

(百万豪ドル)

	11/9末	11/12末	増減
EEV	1,452	約1,600	約+200
修正純資産	660	約800	約+100
保有契約価値	792	約800	約+100

11/9末EEV:

11/9末の為替レート(1豪ドル=75.17円)を使用

11/12末EEV:

11/12末の為替レート(1豪ドル=79.12円)を使用

(1) 2011年12月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2011年12月末、非経済前提は2011年9月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※ なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

参考データ

第一生命

東日本大震災の影響

■ 東日本大震災による保険金等の支払見込額

約152億円

※安否確認活動により、当社の保有契約の状況が概ね判明。その内容を用いて支払見込額を算出

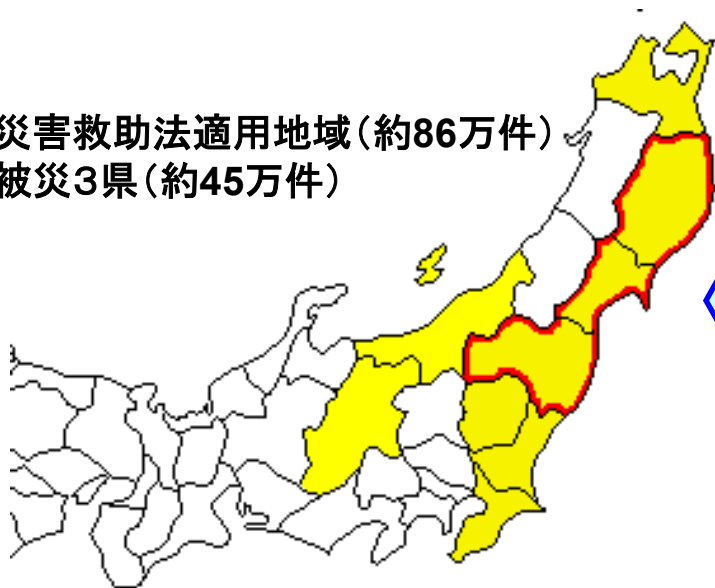
※12月末迄のお支払済みの金額は累計で137.9億円(うち、4月～12月累計は137.5億円)

なお、現在お支払い手続き中の金額も含めると、約146億円

■ 保険金お支払いに向けた努力

災害救助法適用地域⁽¹⁾の当社のご契約(約86万件)のうち、99.99%(1月20日時点)の安否を確認

- 災害救助法適用地域(約86万件)
- 被災3県(約45万件)



安否確認等
(ご自宅、避難所、
職場、ご家族)

営業職員 (被災3県だけでも約1,500名)

+

現地拠点職員 (被災3県だけでも54営業オフィス)

本部派遣職員 約 200名

アウトバウンドコール 約11万コール

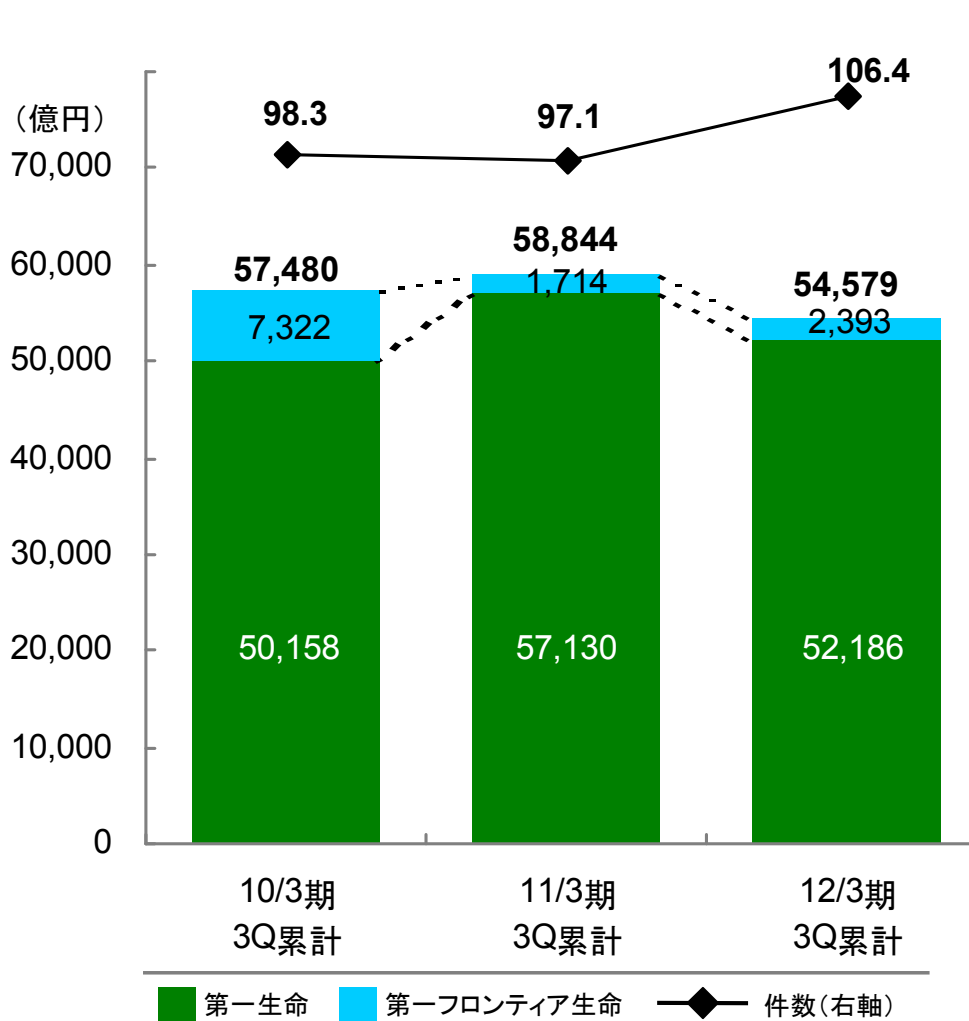
ダイレクトメール 約60万通

(1) 長野県北部地震の災害救助法適用地域を含む

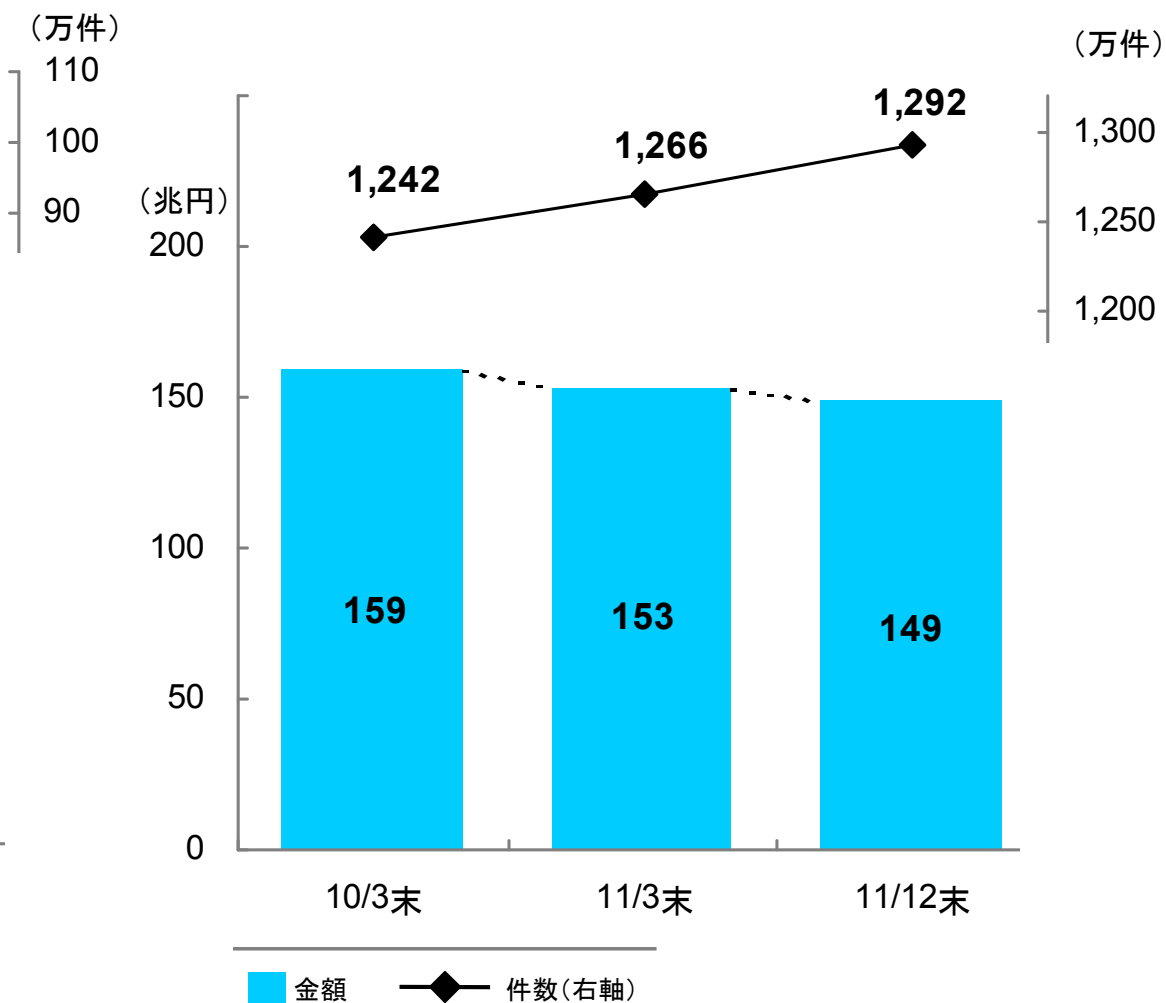
第一生命

契約高の動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



保有契約高⁽¹⁾

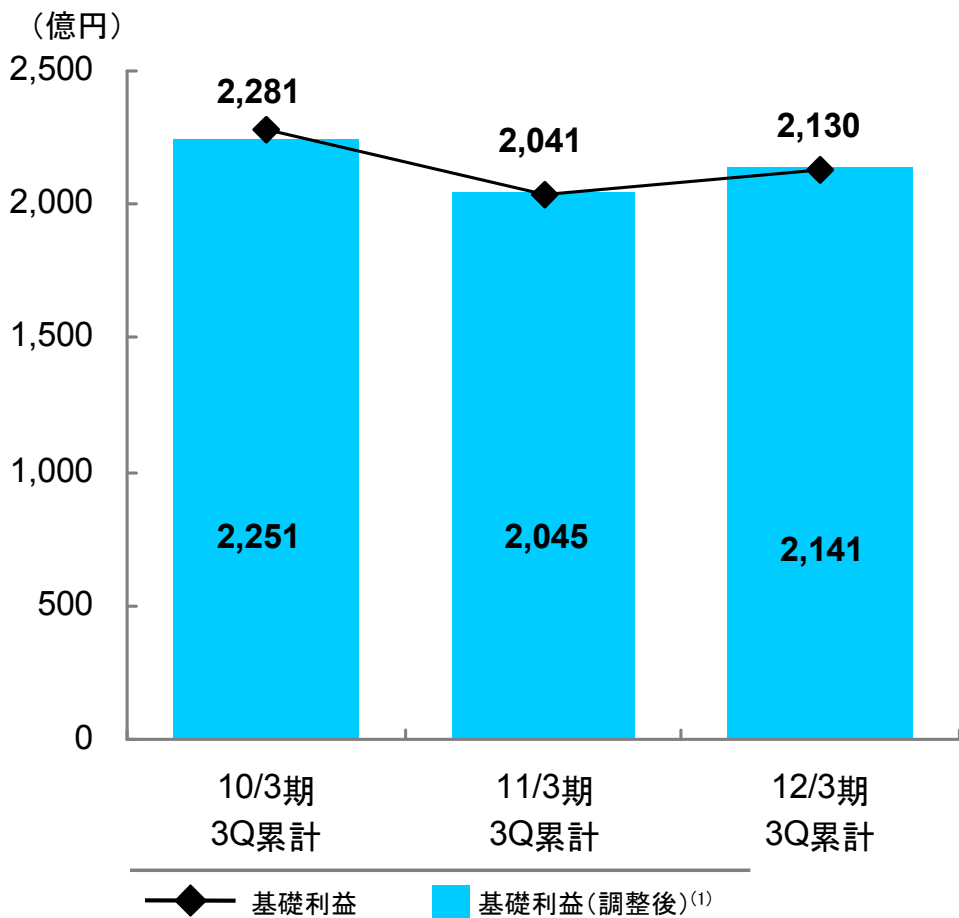


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

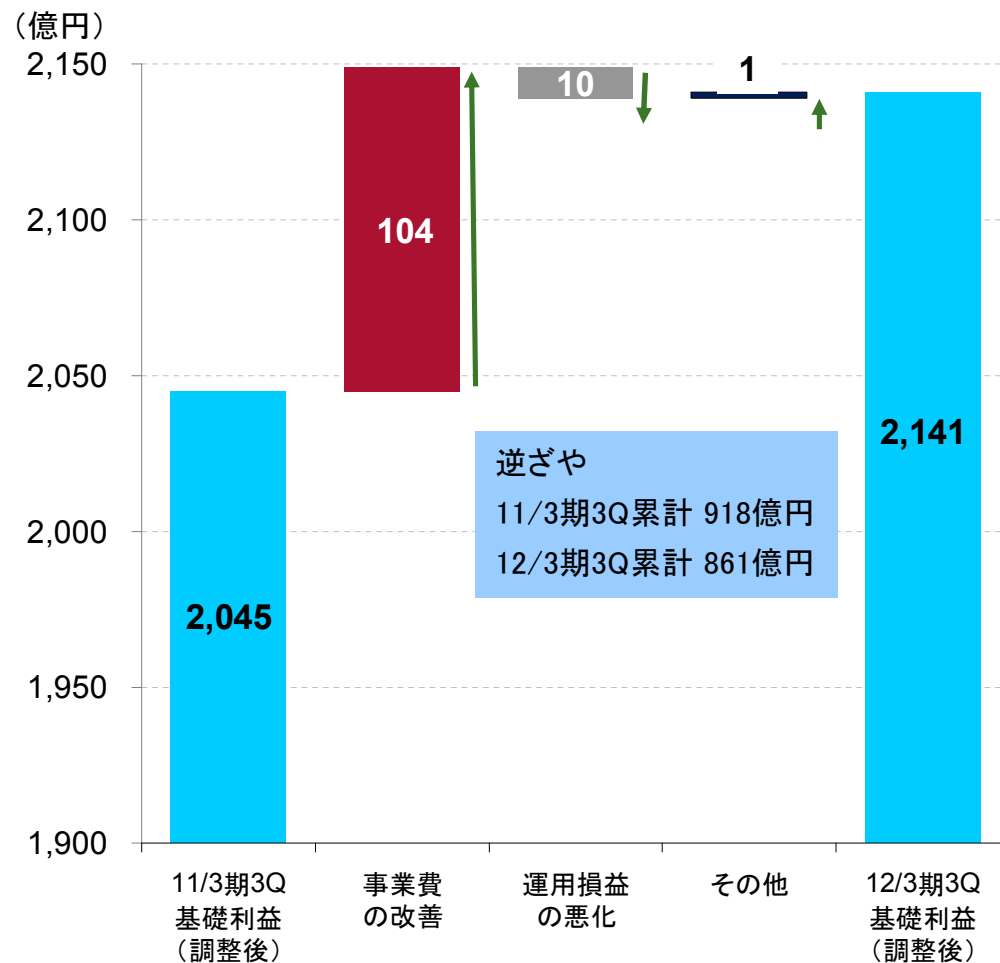
第一生命

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

第一生命

第一生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約)⁽¹⁾

	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	増減
経常収益	31,877	32,573	+696
保険料等収入	23,005	23,270	+264
資産運用収益	6,791	7,074	+282
うち利息・配当金等収入	5,013	5,023	+10
うち有価証券売却益	1,608	2,017	+408
うち金融派生商品収益	150	-	△150
その他経常収益	2,080	2,228	+148
経常費用	30,738	30,577	△161
うち保険金等支払金	18,646	18,343	△303
うち責任準備金等繰入額	3,021	2,318	△702
うち資産運用費用	2,713	3,663	+949
うち有価証券売却損	879	1,064	+185
うち有価証券評価損	691	830	+138
うち金融派生商品費用	-	54	+54
うち特別勘定資産運用損	416	890	+473
うち事業費	3,109	3,005	△104
経常利益	1,138	1,996	+857
特別利益	43	59	+15
特別損失	216	305	+88
契約者配当準備金繰入額	600	522	△77
税引前四半期純利益	366	1,227	+860
法人税等合計	141	1,163	+1,021
四半期純利益	224	63	△160

貸借対照表(要約)

	(億円)		
	11/3末	11/12末	増減
資産の部合計	308,696	308,296	△400
うち現預金・コール	4,671	4,417	△254
うち買入金銭債権	2,911	2,902	△8
うち有価証券	242,945	245,515	+2,570
うち貸付金	36,274	34,350	△1,923
うち有形固定資産	12,958	12,599	△359
うち繰延税金資産	4,751	4,033	△718
負債の部合計	301,032	300,924	△107
うち保険契約準備金	281,908	283,667	+1,758
うち責任準備金	275,895	278,142	+2,246
うち危険準備金	5,020	4,120	△900
うち退職給付引当金	4,183	4,377	+194
うち価格変動準備金	804	754	△50
純資産の部合計	7,664	7,371	△292
うち株主資本合計	5,928	6,017	+89
うち評価・換算差額等合計	1,736	1,352	△383
うちその他有価証券評価差額金	2,375	1,999	△376
うち土地再評価差額金	△651	△646	+5

(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入で相殺されるため、
経常利益に影響するものではありません



第一フロンティア生命財務諸表

損益計算書(要約)

(億円)

	11/3期 3Q累計	12/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,083	2,558	+475
うち保険料等収入	2,051	2,429	+377
うち資産運用収益	32	127	+95
経常費用	2,181	2,800	+619
うち保険金等支払金	607	688	+80
うち責任準備金等繰入額	1,258	1,636	+377
うち資産運用費用	229	362	+133
うち事業費	79	106	+26
経常利益(△は損失)	△97	△241	△144
特別損益	2	△1	△4
税引前四半期純利益(△は損失)	△94	△243	△148
法人税等合計	0	0	+0
四半期純利益(△は損失)	△94	△243	△148

貸借対照表(要約)

(億円)

	11/3末	11/12末	増減
資産の部合計	15,667	17,127	+1,459
うち現預金・コール	239	171	△68
うち有価証券	14,554	16,062	+1,507
負債の部合計	14,500	16,195	+1,695
うち保険契約準備金	14,430	16,065	+1,634
うち責任準備金	14,419	16,056	+1,636
うち危険準備金	364	386	+22
純資産の部合計	1,167	931	△235
うち株主資本合計	1,153	909	△243
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△696	△940	△243

第一生命

豪TAL財務諸表

損益計算書(要約)⁽¹⁾

(百万豪ドル)

	10年 4~12月 ⁽²⁾	11年 4~12月	増減
経常収益	1,240	1,543	+302
保険料等収入	988	1,217	+229
資産運用収益	72	18	△54
その他経常収益	179	306	+127
経常費用	1,126	1,411	+285
保険金等支払金	661	826	+165
責任準備金等繰入額	118	134	+16
資産運用費用	15	61	+45
事業費	284	331	+47
その他経常費用	45	56	+11
経常利益	114	131	+17
特別損失	-	2	+2
法人税等	49	42	△7
純利益	64	86	+22
修正利益 (Underlying profit)	72	84	+12

貸借対照表(要約)⁽¹⁾

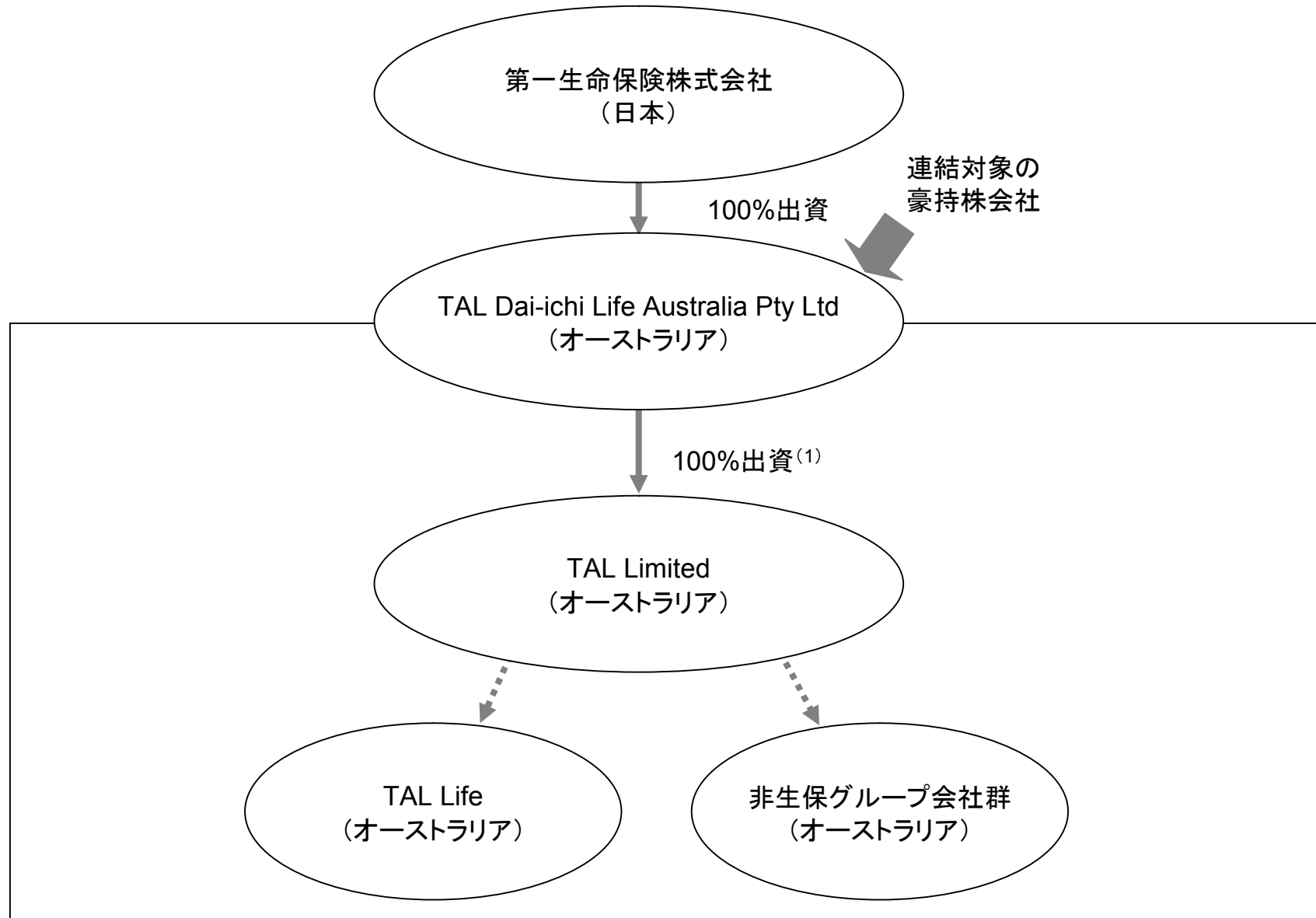
(百万豪ドル)

	11/4始	11/12末	増減
資産の部合計	4,989	4,993	+4
うち現金・預貯金	264	335	+70
うち有価証券	2,696	2,576	△119
うち無形固定資産	1,331	1,303	△27
うちのれん	785	783	△2
うちその他の無形固定資産	529	509	△19
うちその他資産	525	576	+51
負債の部合計	3,358	3,276	△82
保険契約準備金	2,384	2,233	△150
再保険借	173	191	+18
その他負債	612	663	+50
繰延税金負債	188	187	△0
純資産の部合計	1,630	1,717	+86
株主資本合計	1,630	1,717	+86
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	-	86	+86

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) 試算値

豪TALに係る出資スキーム



(1) TAL Dai-ichi Life Group Pty Ltdを通じた100%出資

第一生命

金融市場への感応度(2011年12月末)

	感応度 ⁽¹⁾⁽²⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾⁽³⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 2,100億円(2,200億円)の増減	日経平均株価 ¥8,100 (¥8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 1,900億円(1,600億円)の増減	10年国債利回り 1.4% (1.5%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 220億円(200億円)の増減	ドル/円 \$1 = ¥86 (¥87)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) ()の数値は2011年3月末の水準

(3) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

第一生命

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。